

【洞爺湖町土壌性質マニュアル】 作成に係る方向性

《洞爺湖町、胆振農業改良普及センター、JAとうや湖》

＜初回協議の結果＞

(1) 対象地域

洞爺湖町の全農地

(2) 目的

洞爺湖町全体の土壌性質を明らかにし、情報を農家に還元することで農業の原点である「土づくり」の基礎として活用してもらう

(3) ポイント選定

昭和35年発行 洞爺村土性調査説明書を基に選定

(4) 地区別ポイント数

①旧洞爺村

大原、成香、香川、洞爺、財田・川東・岩屋 小計160地点

②旧虻田町

花和20地点、月浦、入江、三豊は各5地点 小計 35地点 合計195地点

(5) 土壌採取層

0～19cm（作土層）、20～39cm（心土層） 計2層

(6) 土壌採取方法

土壌採土器による採取を基本とする

(7) 土壌採取時期

作物収穫後（7月の人参収穫後から開始、トレンチャーの入るごぼう、長芋圃場に関しては収穫前に採取）

(8) 分析項目

一般分析項目、腐植

(9) 年次計画等

予算的に年間100地点（200サンプル）が限界であることから、令和2年度、3年度は土壌採取、分析とし、令和4年度以降での完成を目指す

(10) 協力呼びかけ

胆振農業改良普及センター、JAとうや湖

(11) 農業者への周知

書面にて周知。

(12) 備考

採取圃場農家に前作、後作を聞く。ポイントを記録する（全体の土壌性質を見る目的であり採取に適切なポイントから土壌を採取することから正確な位置情報は取らない）

(13) 協議事項

現在、作物栽培の観点で微量元素（マンガン、ホウ素、鉄、銅、亜鉛等）の重要性が認識されていることから他機関に分析を依頼することも検討